

平成 15 年度
伊良湖水道流況調査報告書

平成 17 年 1 月

第四管区海上保安本部

1 目的

伊良湖水道は伊勢湾・三河湾内に入出港する大型船が輻輳する海域であり、タンカー、コンテナ船等一度海難が発生すると付近沿岸には多大な被害をもたらす船舶が多数航行しており、さらに同水道では大型船の航行規制の緩和が検討されている。このため、航行安全・海難防止の観点から、より詳細な流況を把握するとともに、漂流予測の精度向上に資する。

2 調査区域

第1回：図1

第2回、第3回、第4回：図2
の測線

3 実施職員

業務班の編成

	官 職	氏 名	記 事
班長	海洋情報部 海洋調査課 海洋調査官	並木 正治	第1回、2回
班員	〃 海洋調査官付	後藤 礼介	第1回、3回、4回
〃	測量船いせしお 船長	山田 健志	全期間
〃	〃 機関長	太田 誠路	〃
〃	〃 主任航海士	畠山 秀二	〃
〃	〃 主任機関士	清水 哲朗	〃

4 調査期間及び経過概要

(1) 現地作業期間

第1回：平成15年8月2日～4日

第2回：平成15年10月27日～28日

第3回：平成15年12月8日～10日

第4回：平成16年3月9日～10日

(2) 資料整理期間

平成16年4月～12月

(3) 経過概要

上記作業期間において、超音波流速計（WH-ADCP600kHz）を船体右舷に設置し、約5knで測線を航走しながら流れを観測した。第1回の観測においては、13時間の連続観測を行い、伊良湖水道航路を12周することができた。第2回3回4回の観測は伊良湖水道航路内に6本の測線を設け、上げ潮流最強時付近と下げ潮流最強時付近の流れを観測することができた。

観測期間中は、日出日没の制約があり、最強時を的確に捉えられない時や荒天により観測が延長されたこともあったが、ほぼ予定どおりの観測ができた。

5 調査方法

超音波流速計（WH-ADCP600kHz）を船体右舷に設置し（図2参照）、約5knで測線を航走しながら流れを観測した。

6 作業船又は航空機の種別又は名称

測量船「いせしお」

7 調査結果

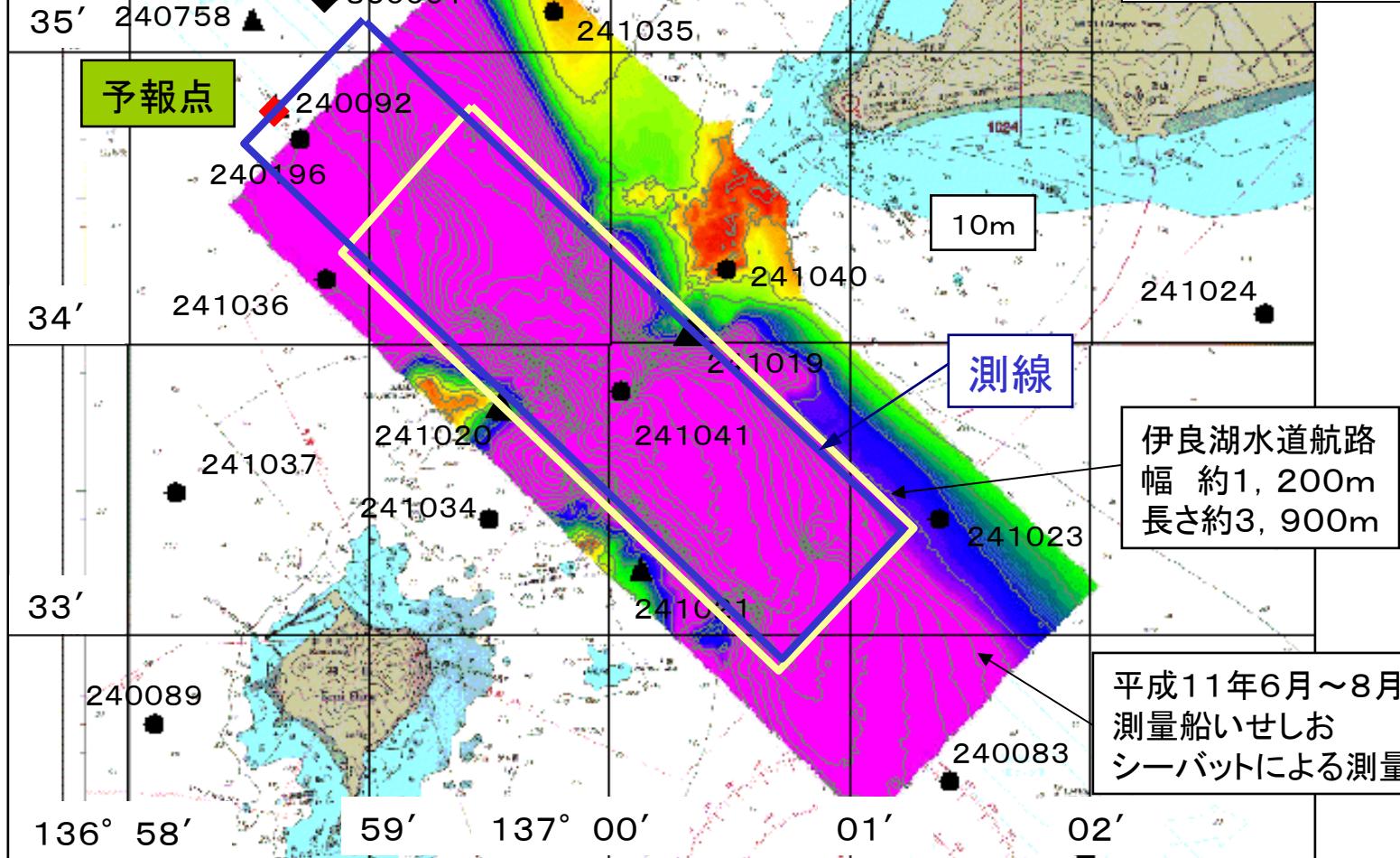
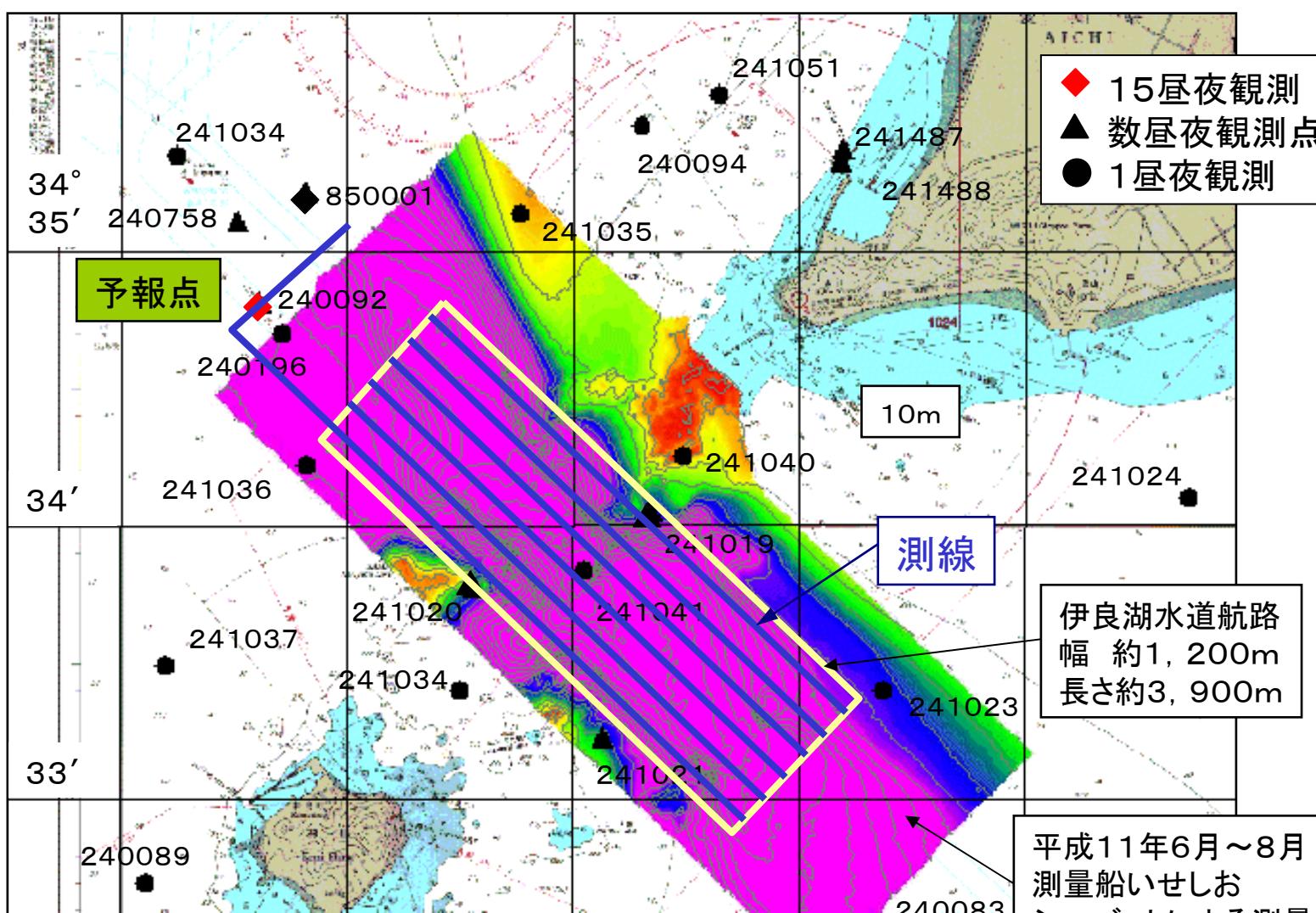


図1 伊良湖水道流況調査測線図(第1回)



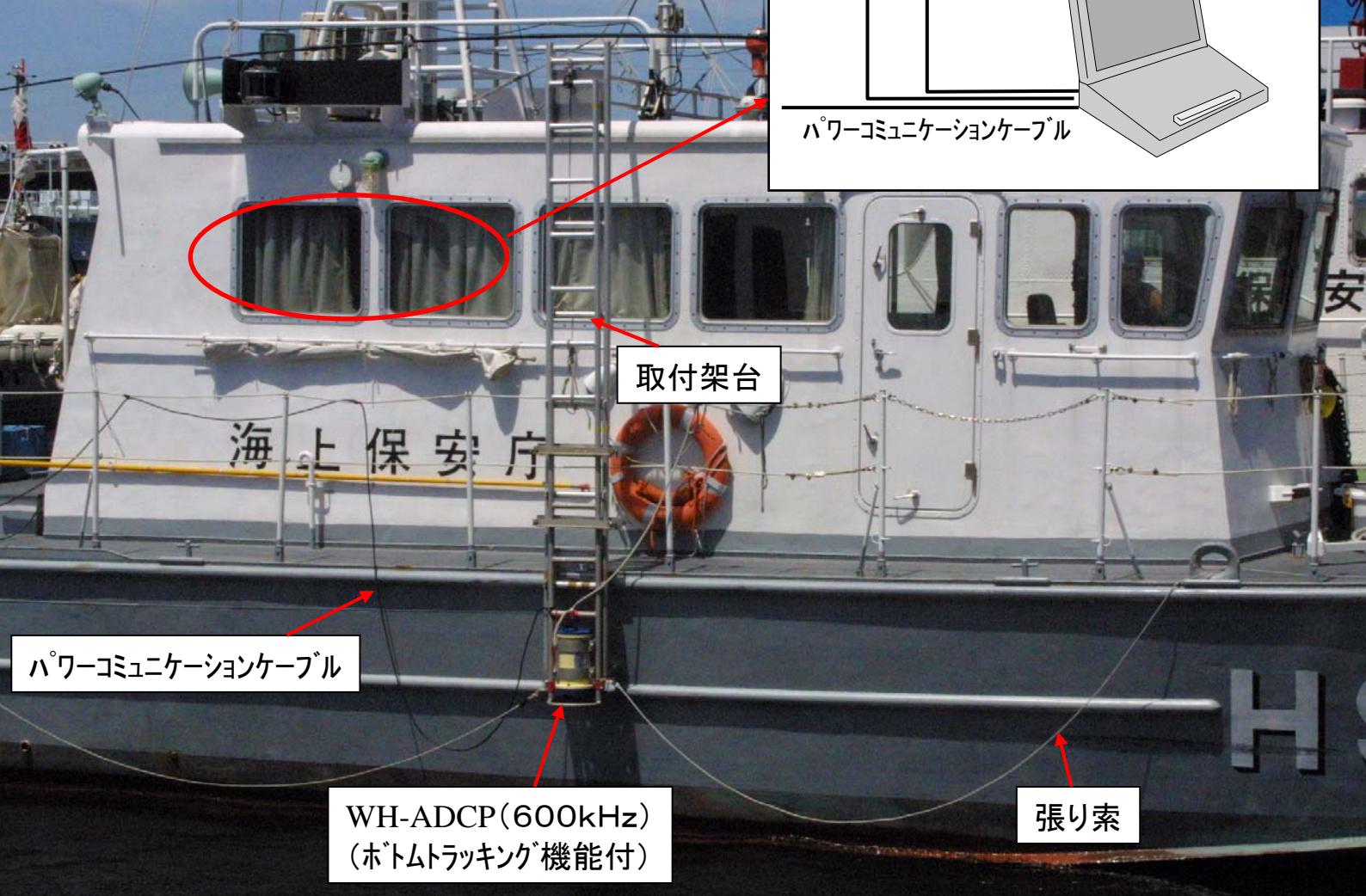
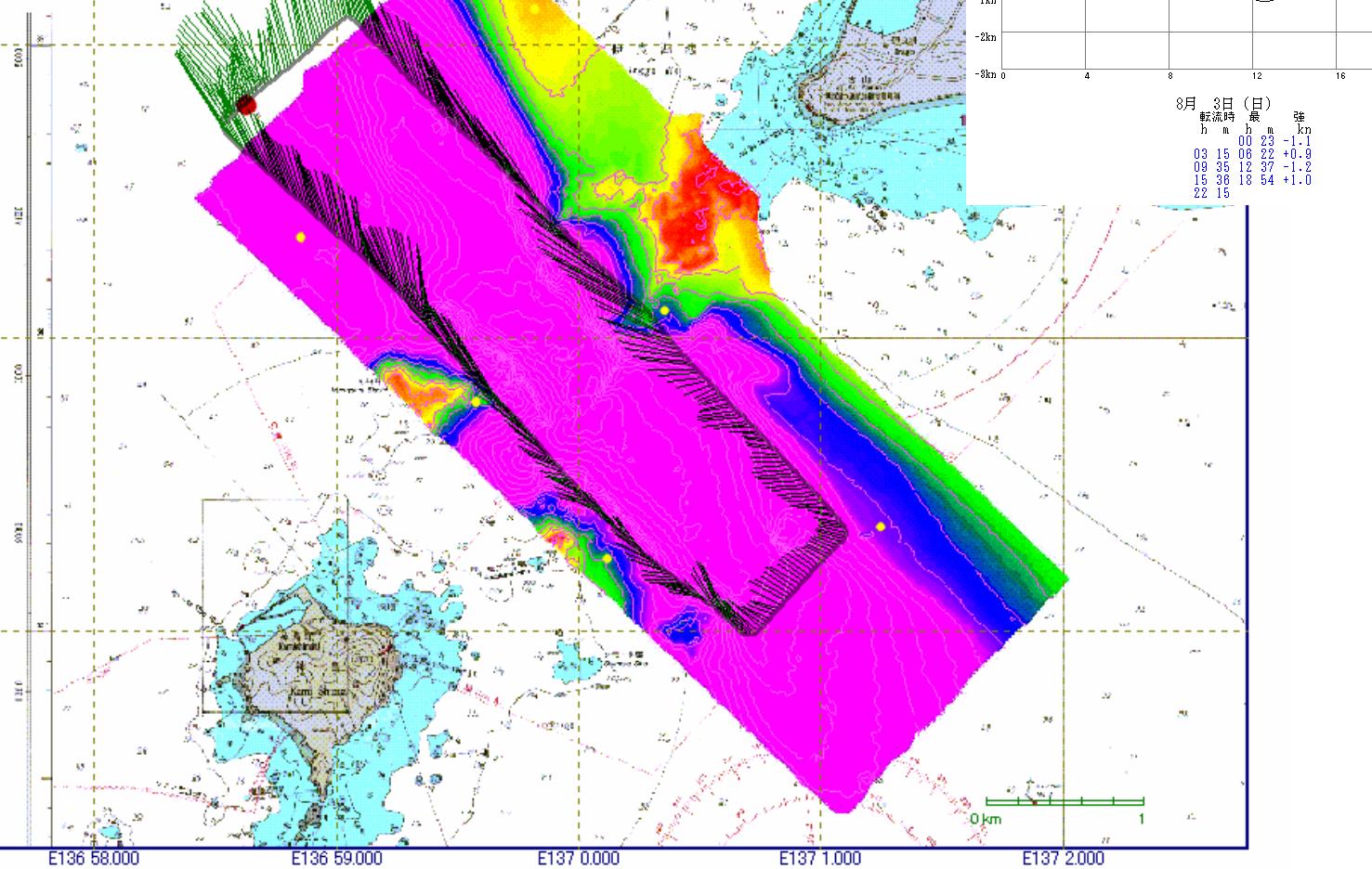
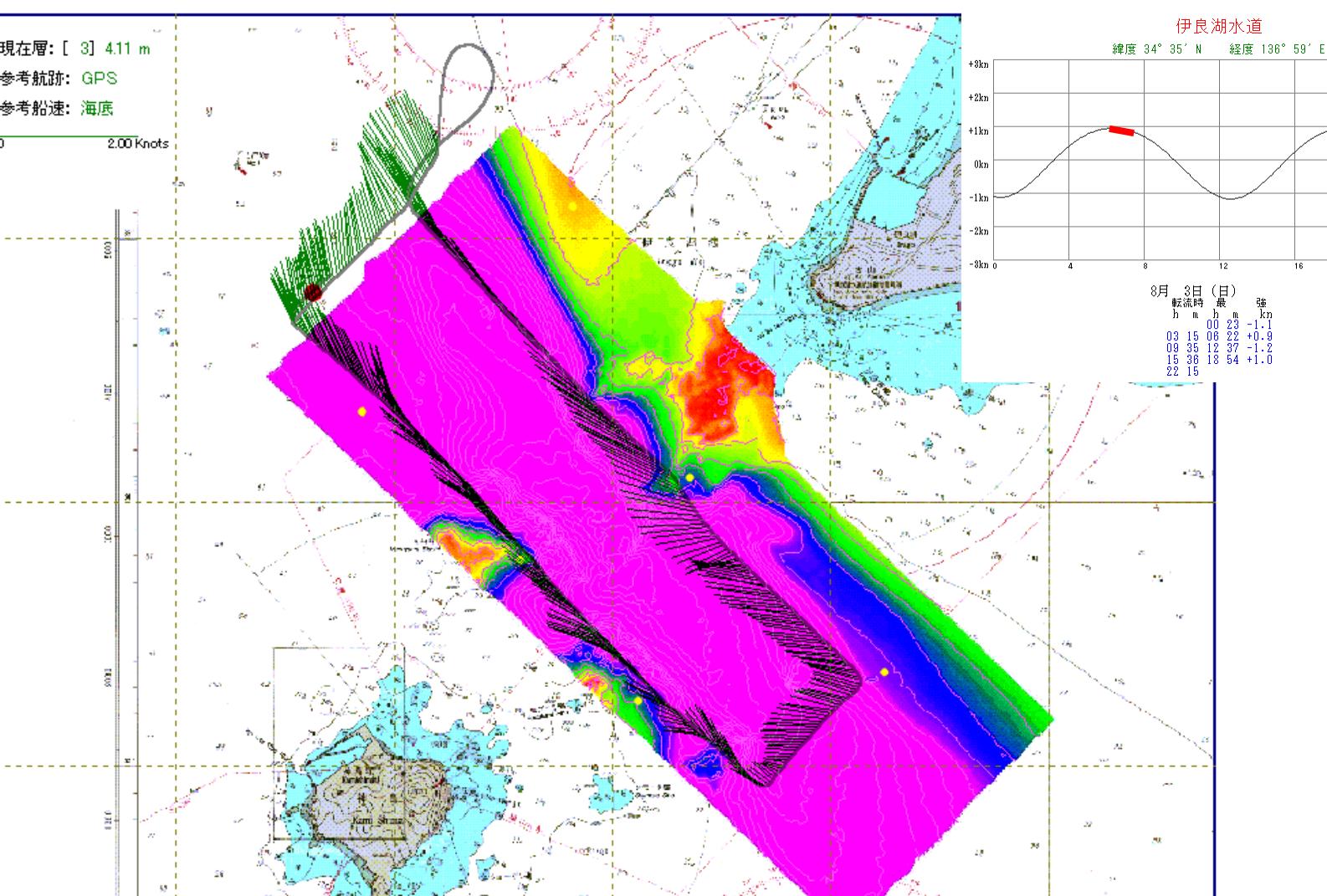
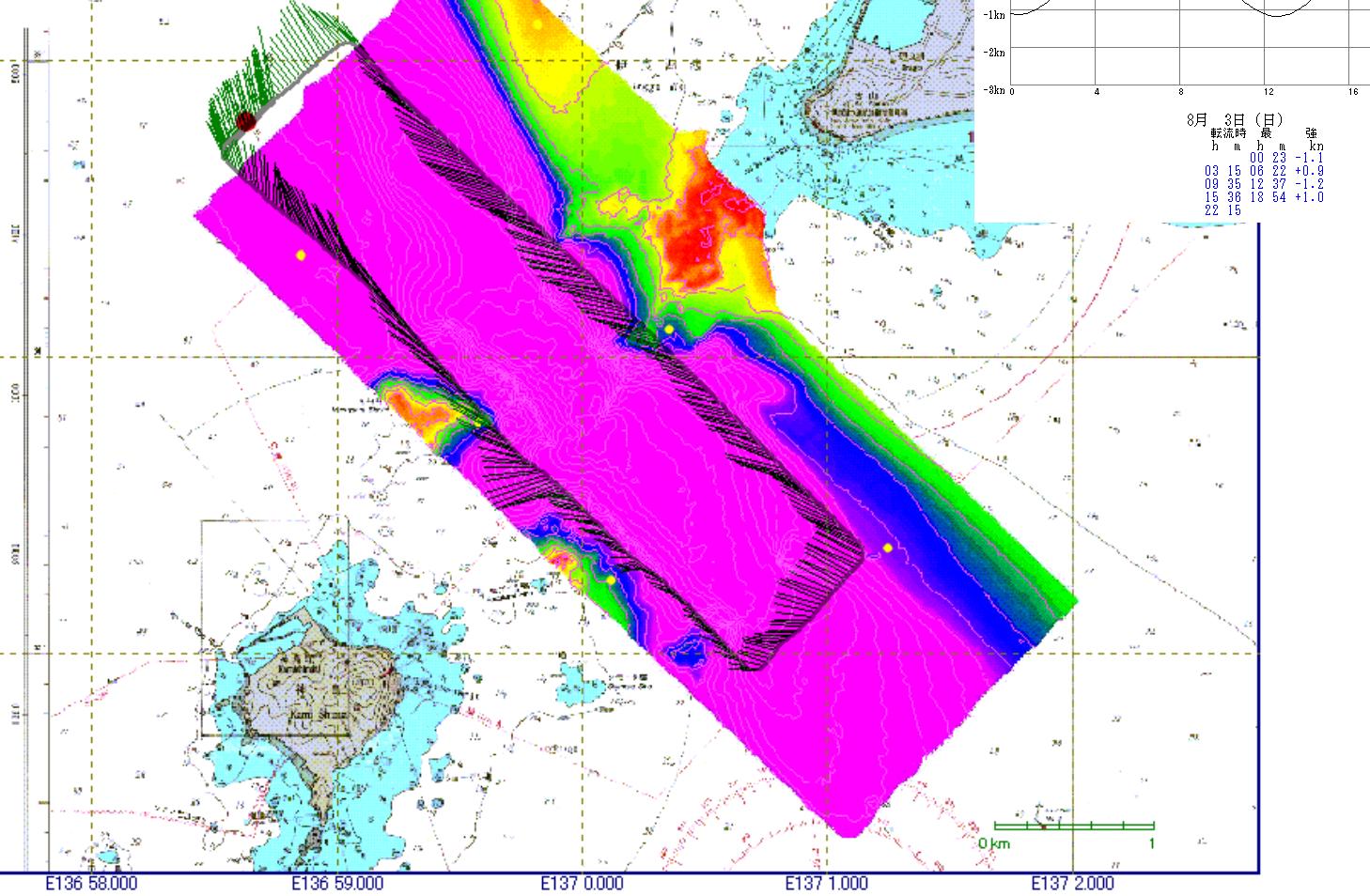


図3 超音波流速計設置図

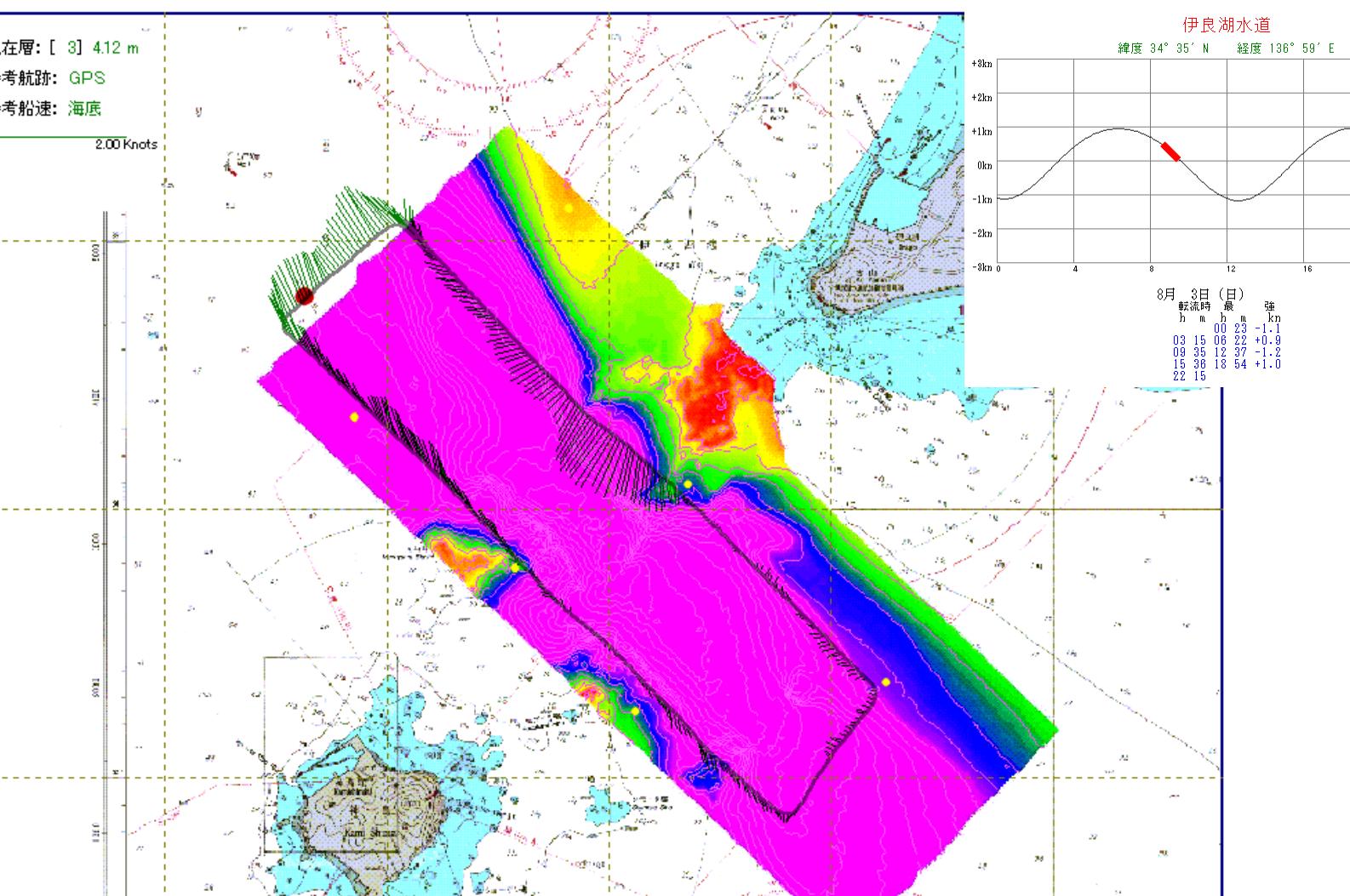


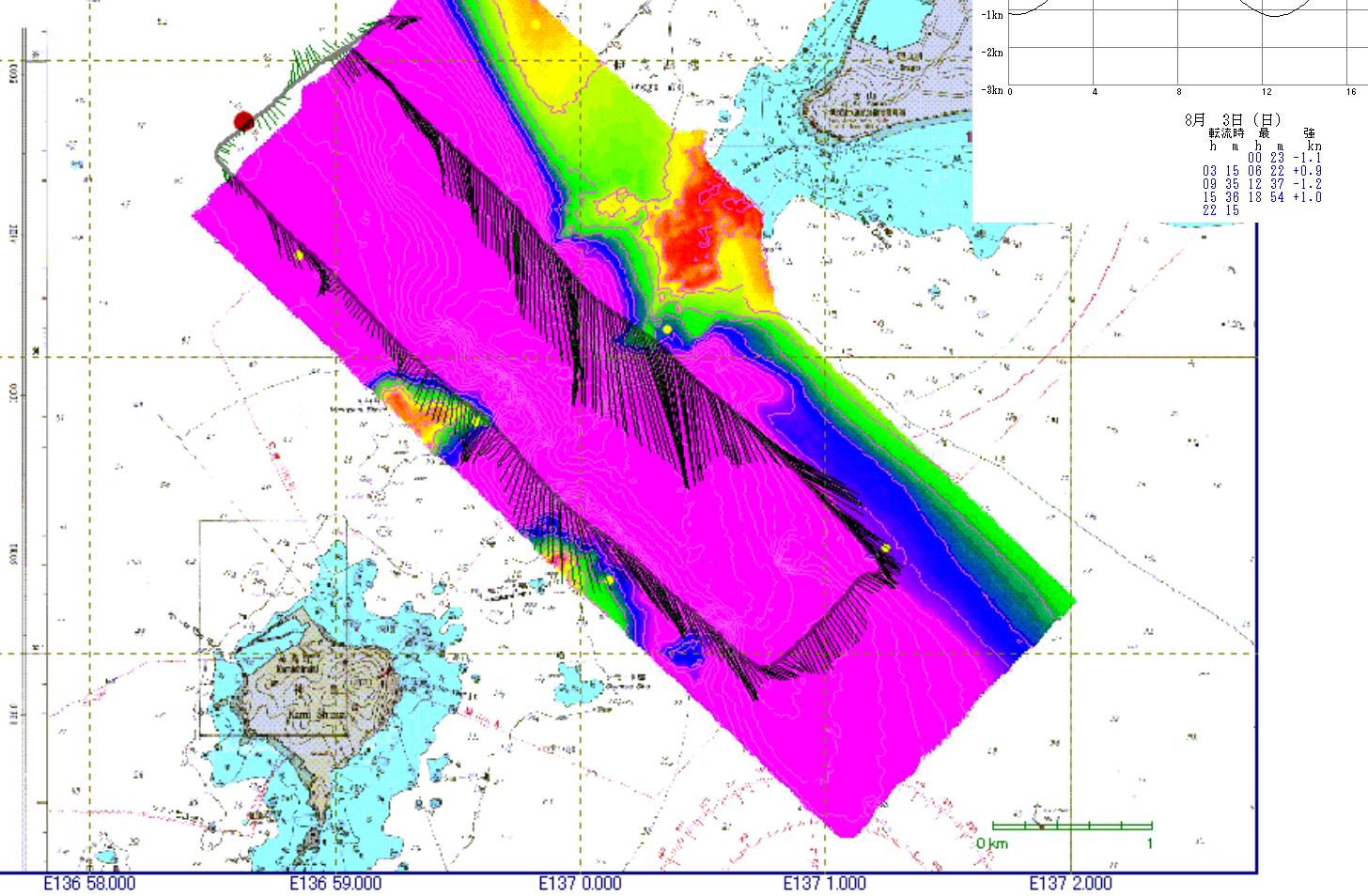
4-1 第1回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(1周目:平成15年8月3日 05:11-06:14)



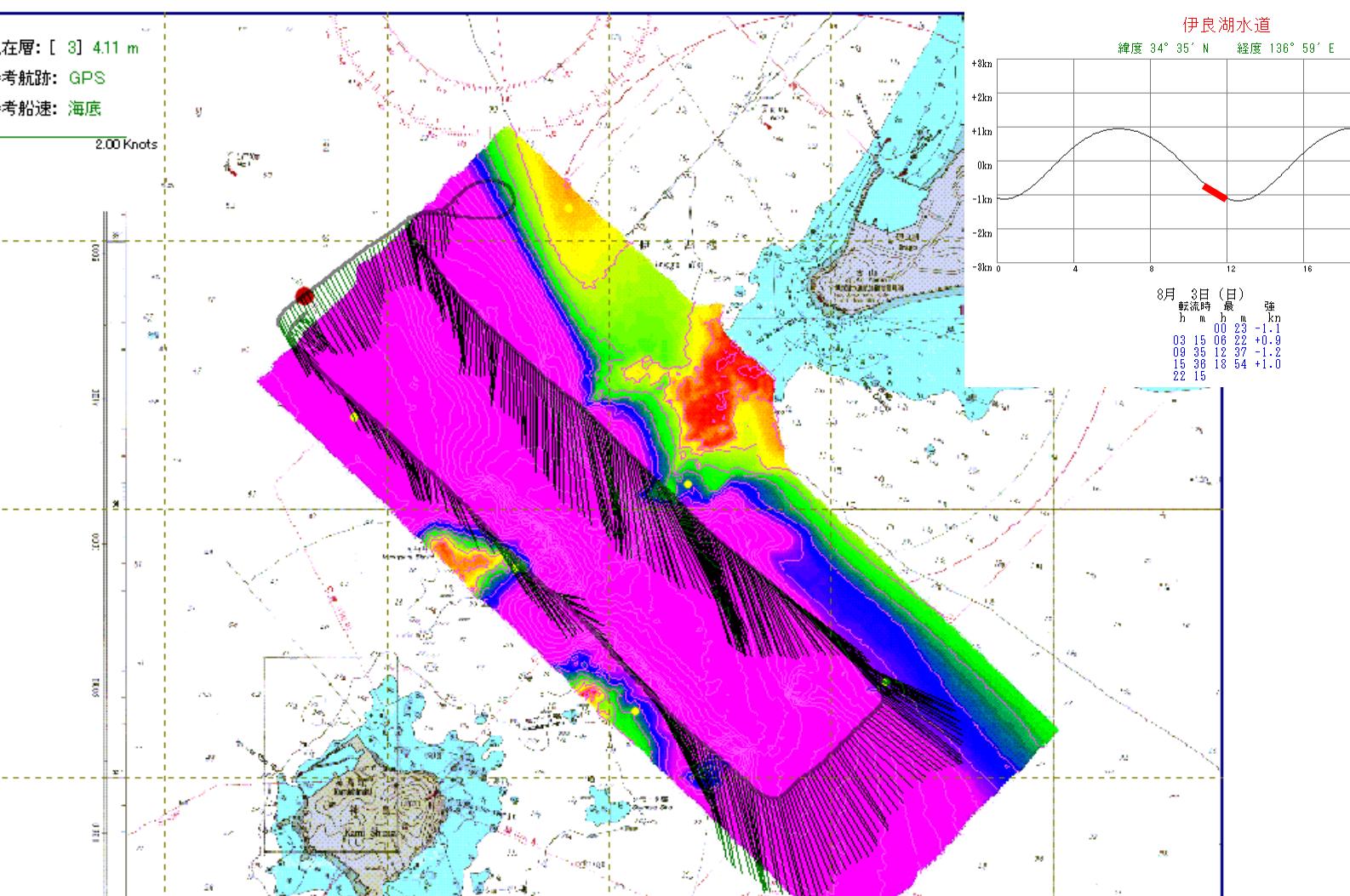


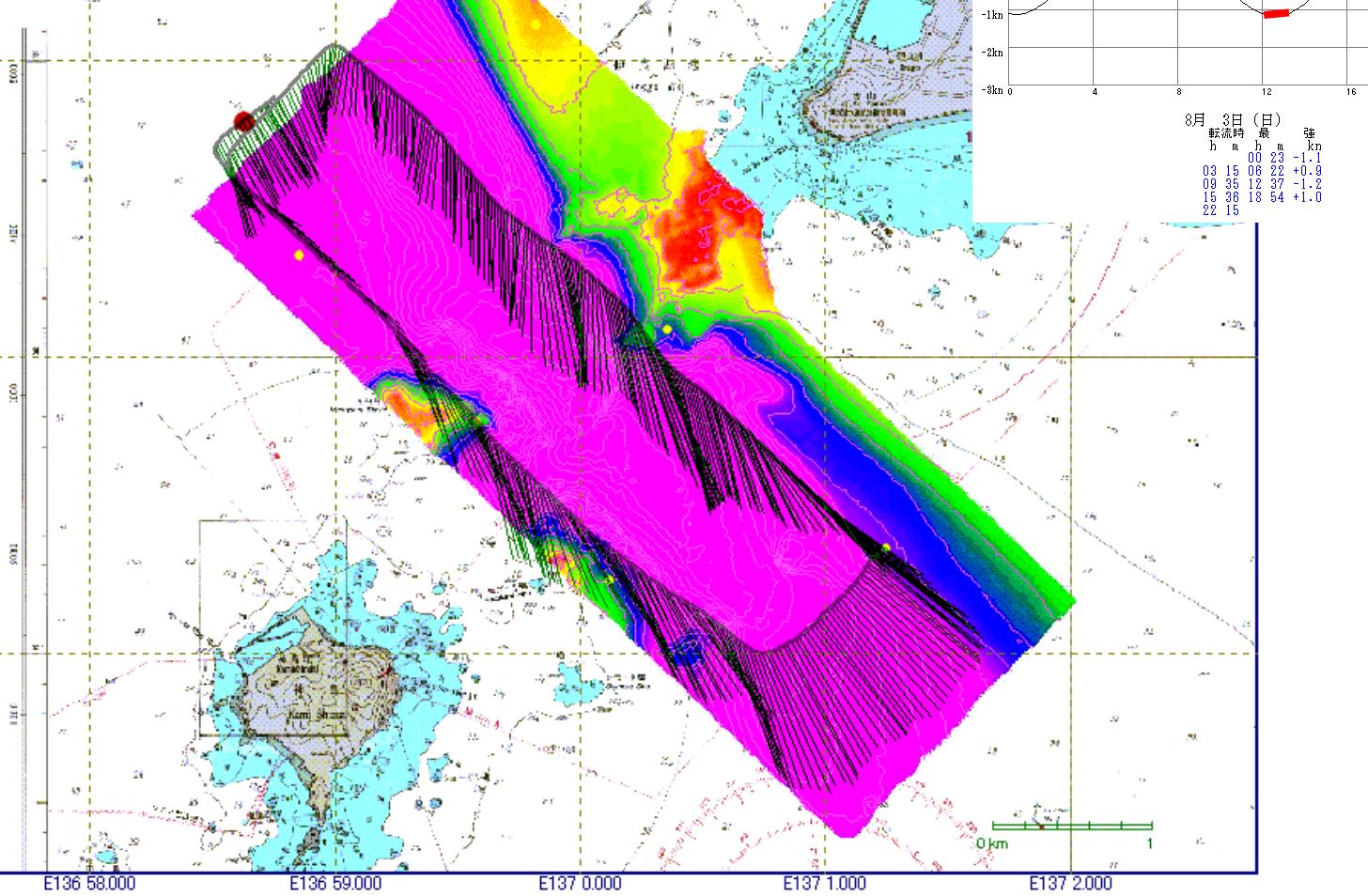
4-3 第1回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(3周目:平成15年8月3日 07:27-08:35)



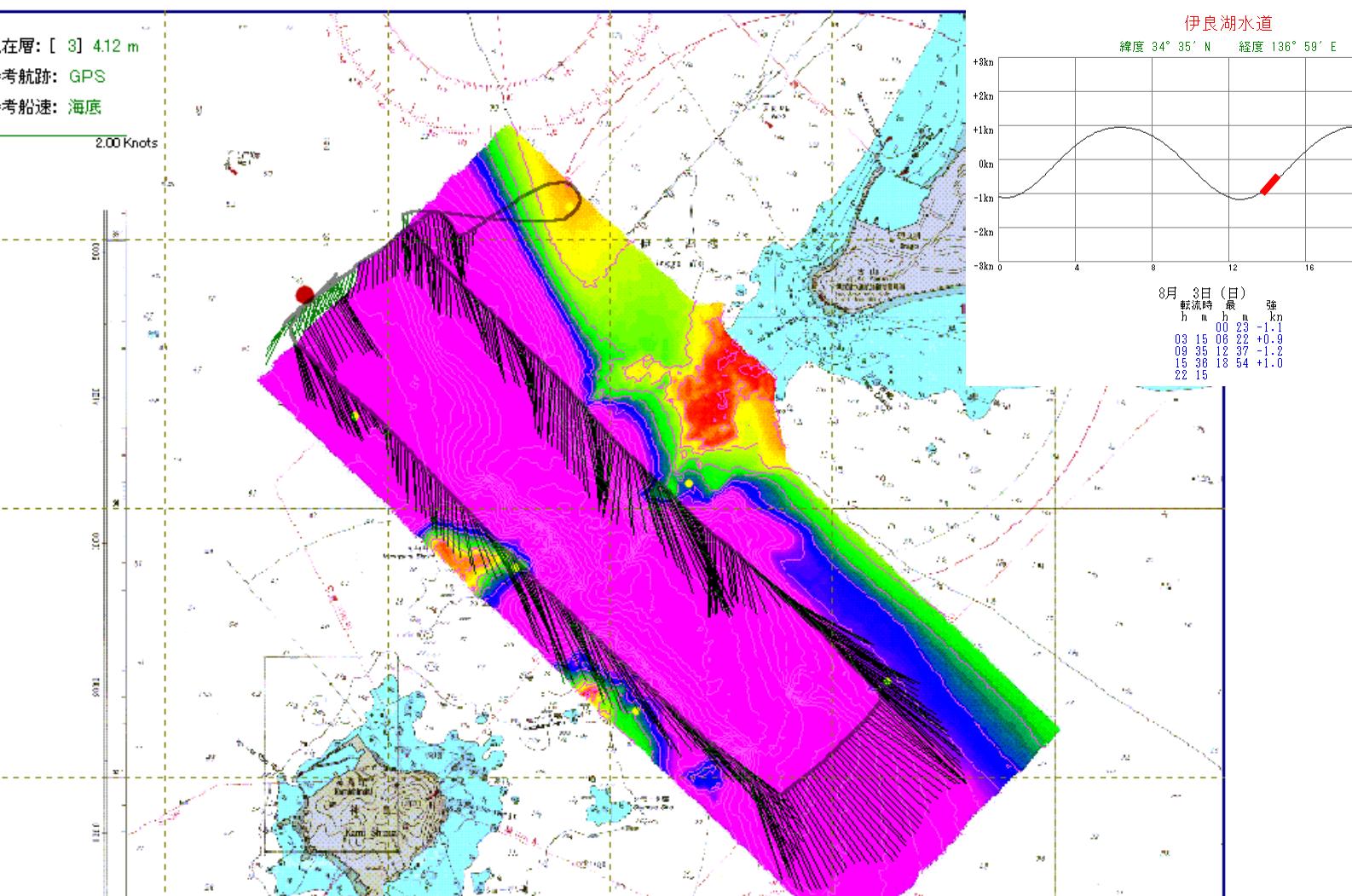


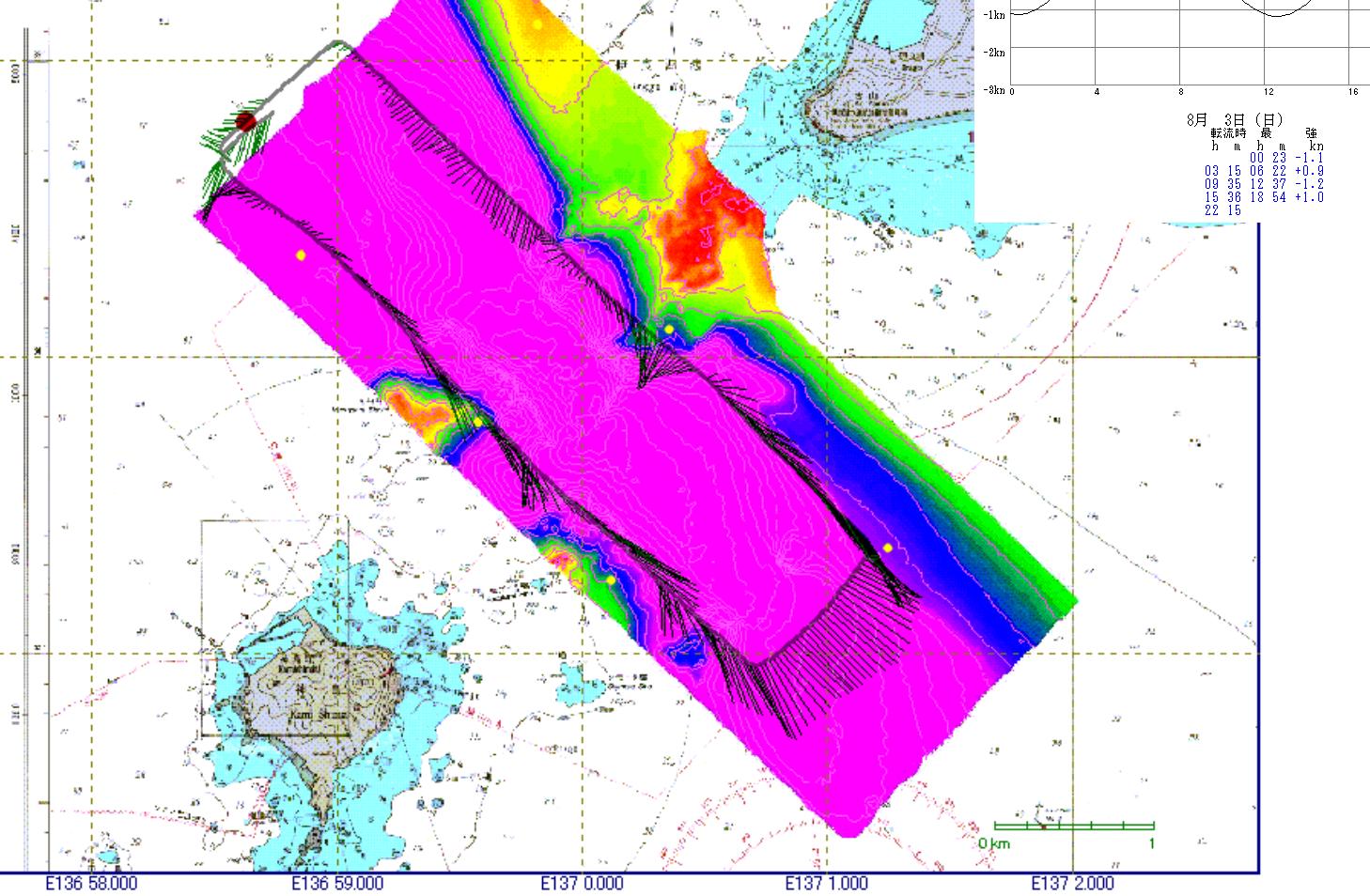
4-5 第1回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(5周目:平成15年8月3日 09:44-10:51)



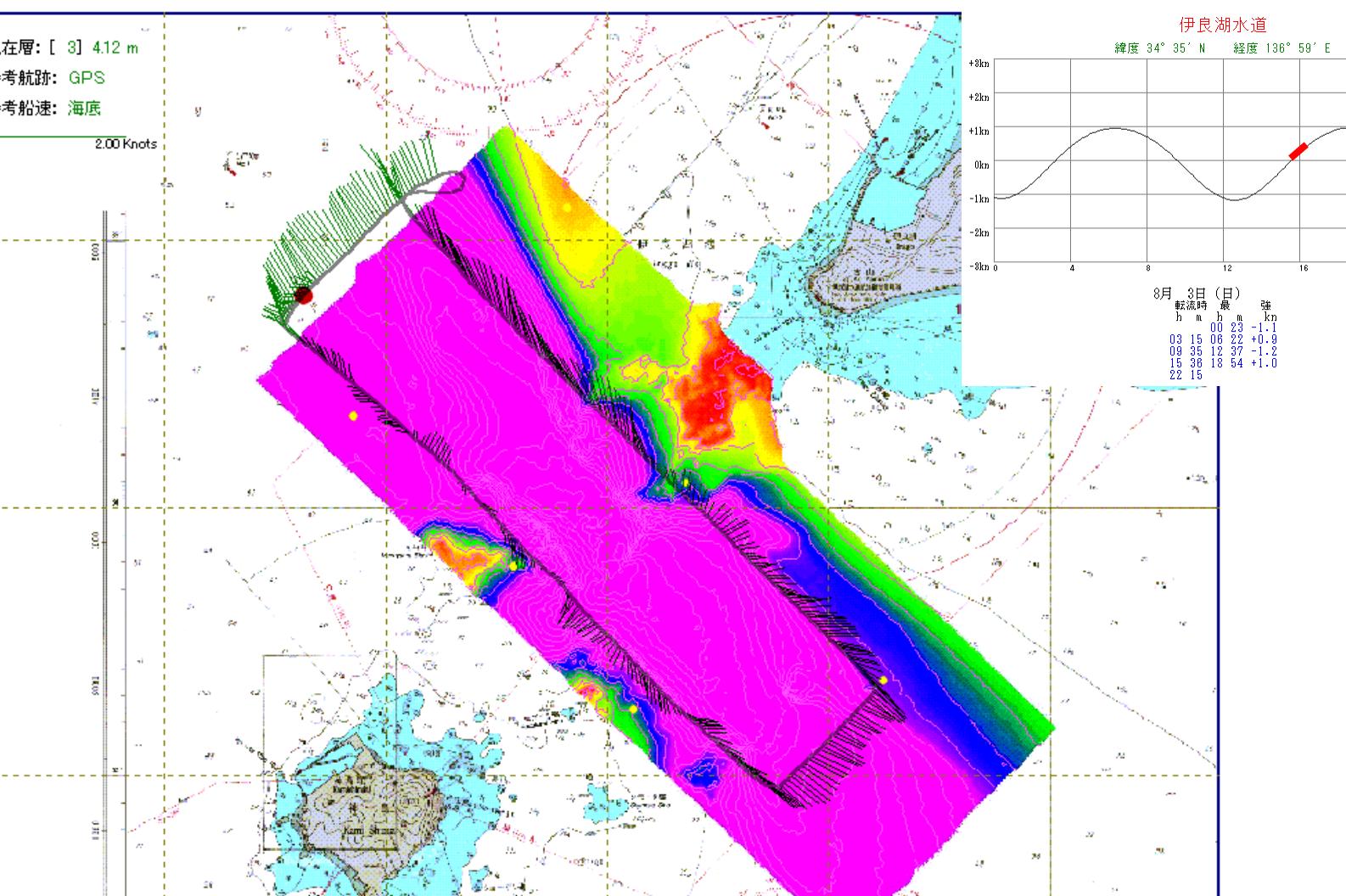


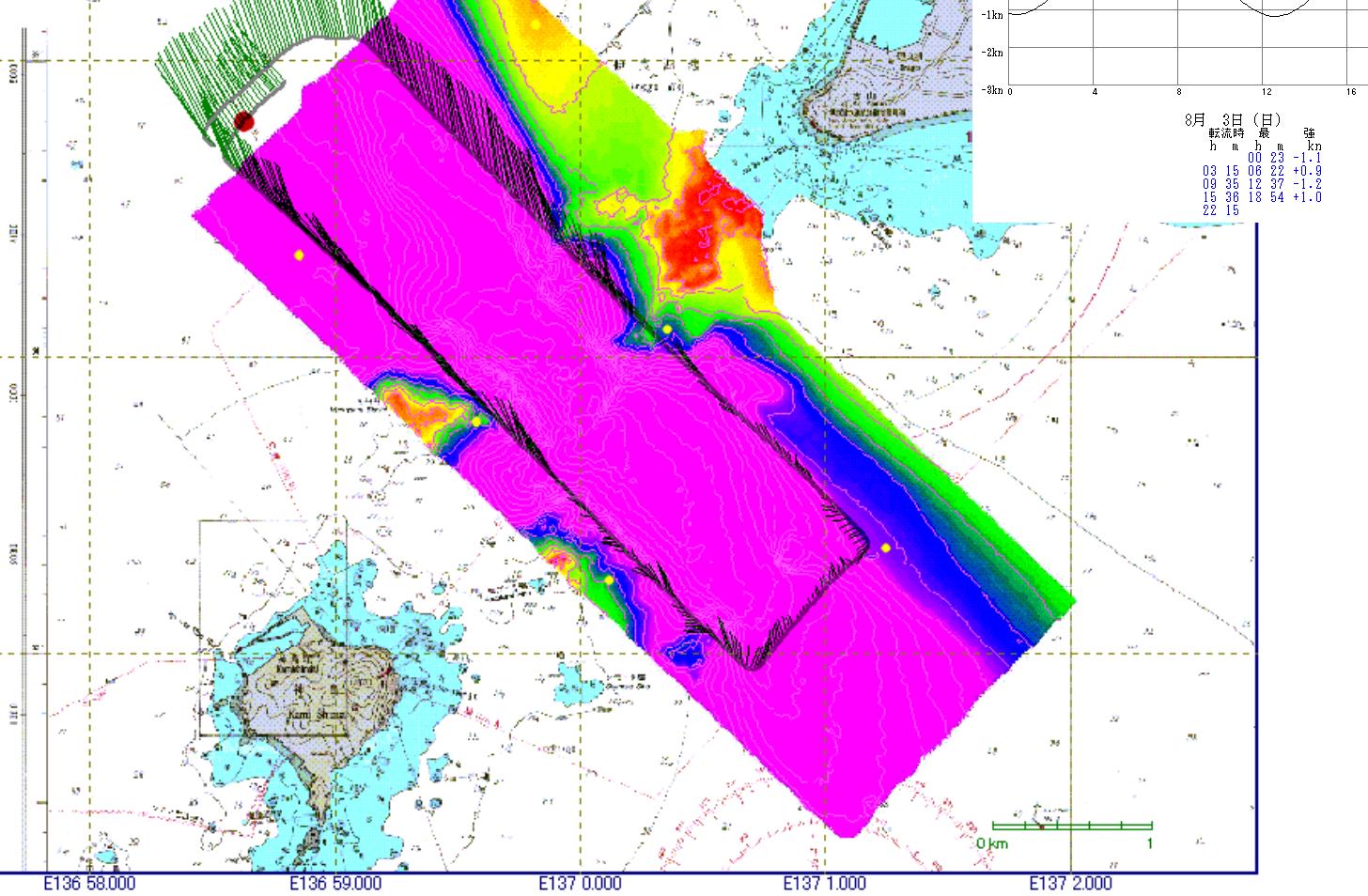
4-7 第1回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(7周目:平成15年8月3日 12:10-13:16)



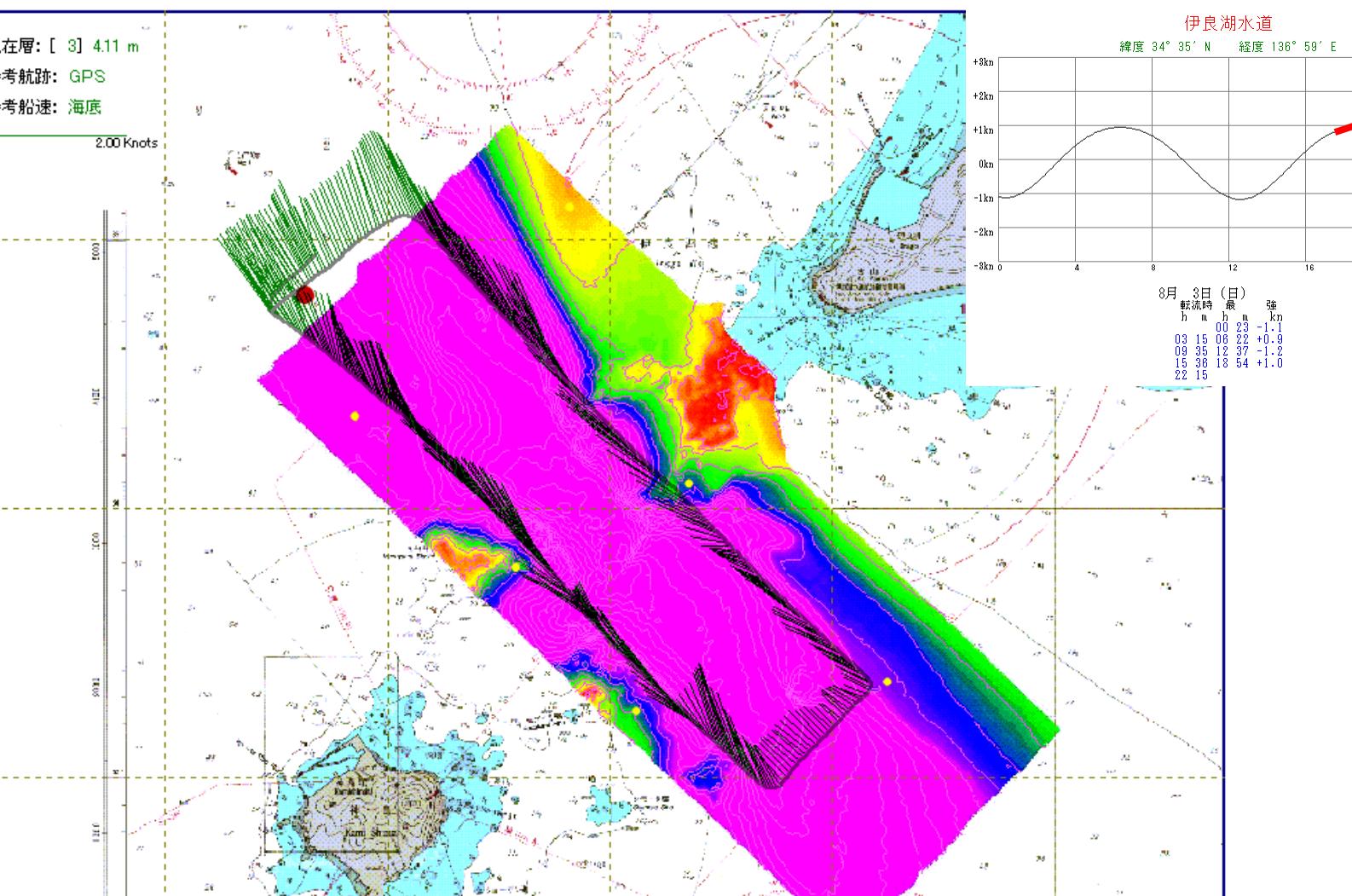


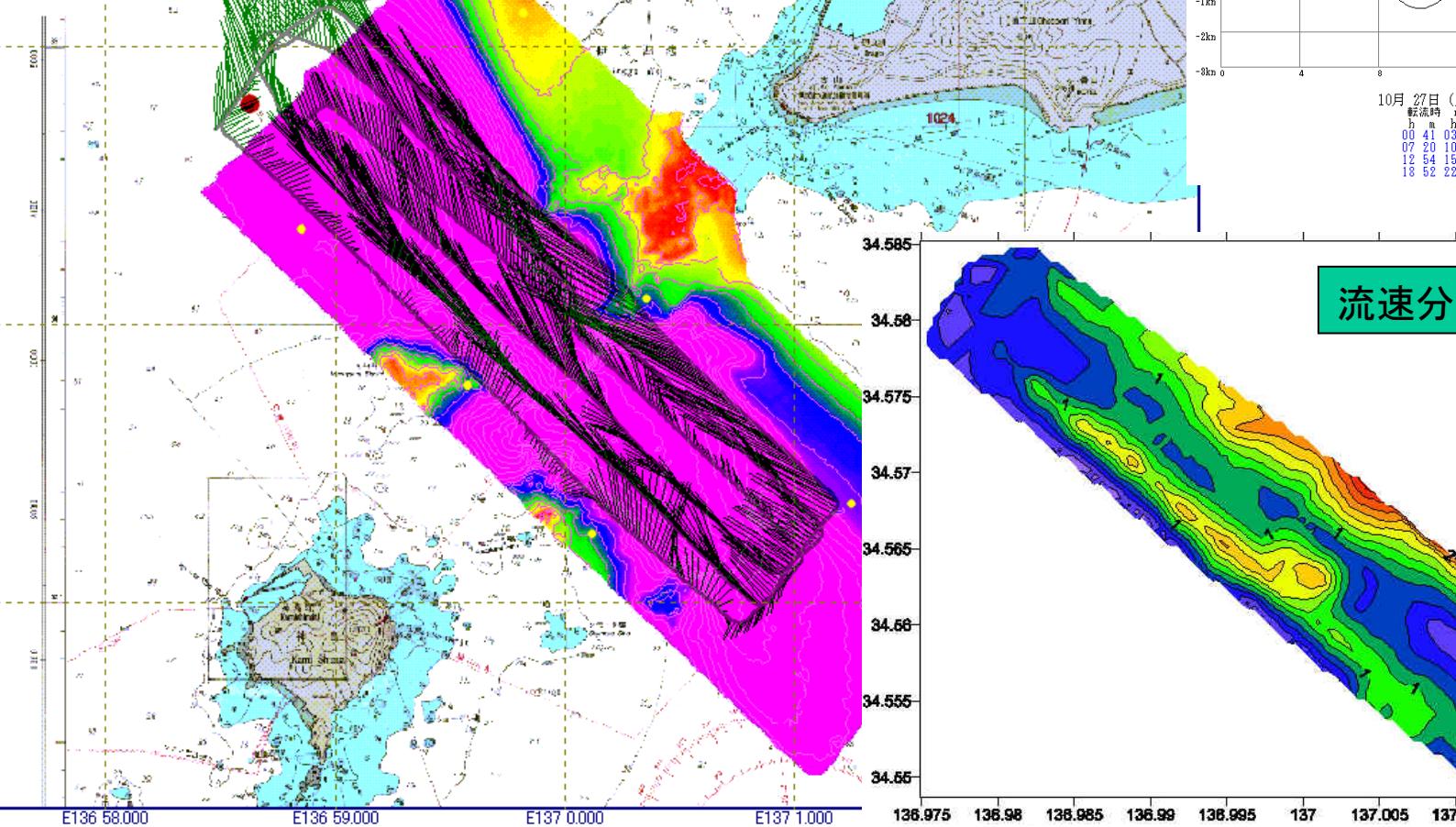
4-9 第1回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(9周目:平成15年8月3日 14:23-15:25)



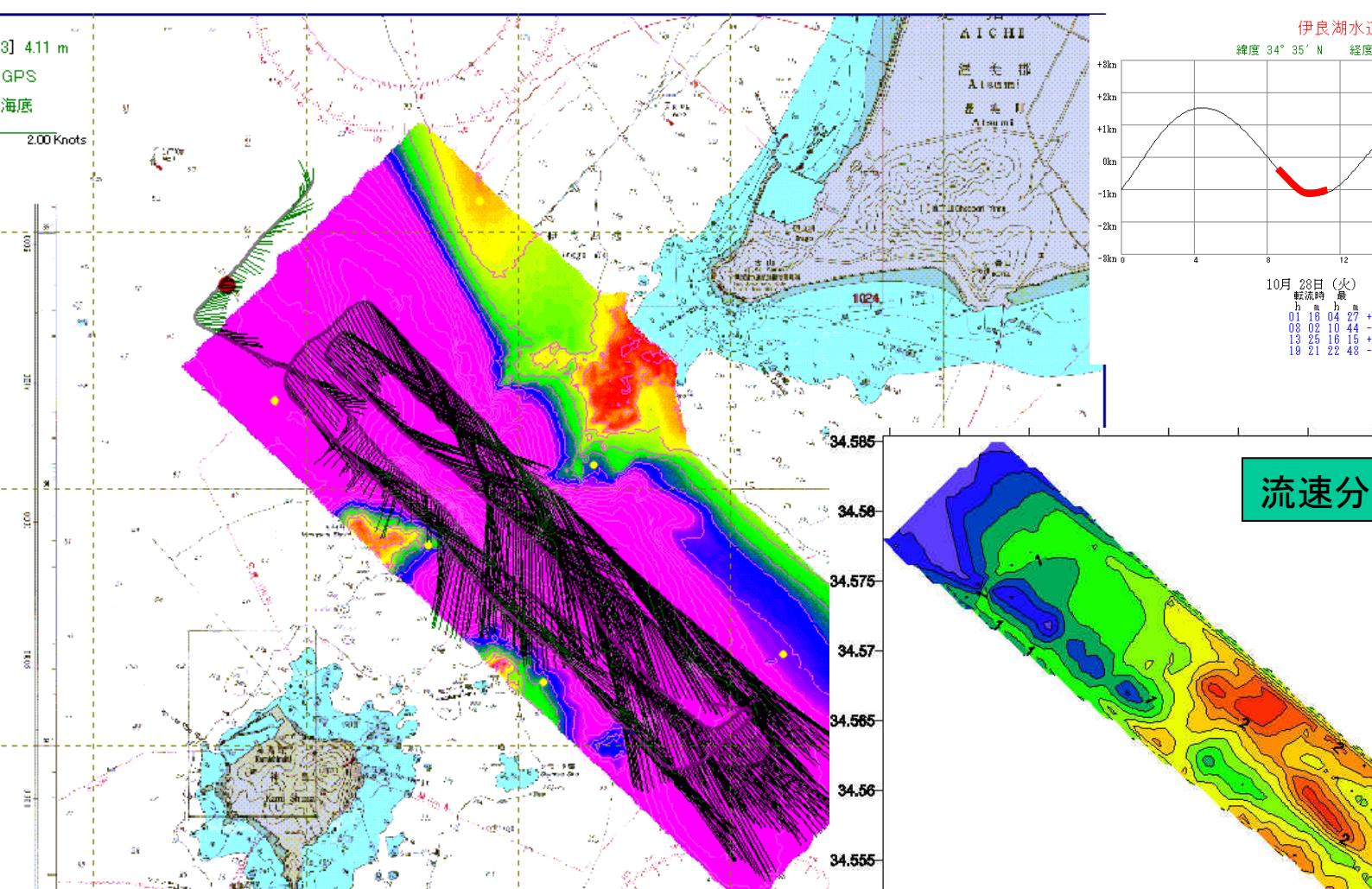


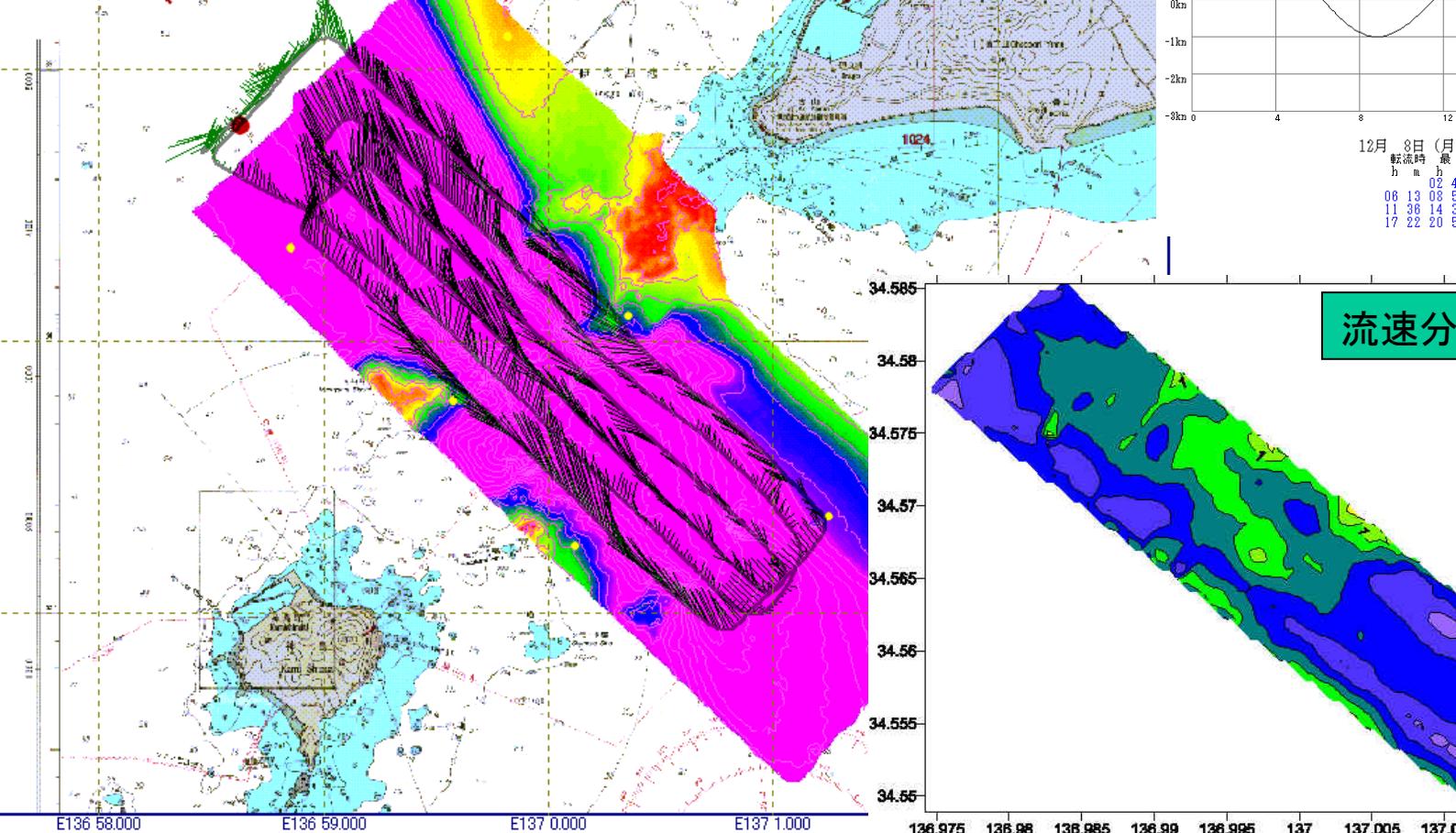
4-11 第1回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(11周目:平成15年8月3日 16:29-17:36)



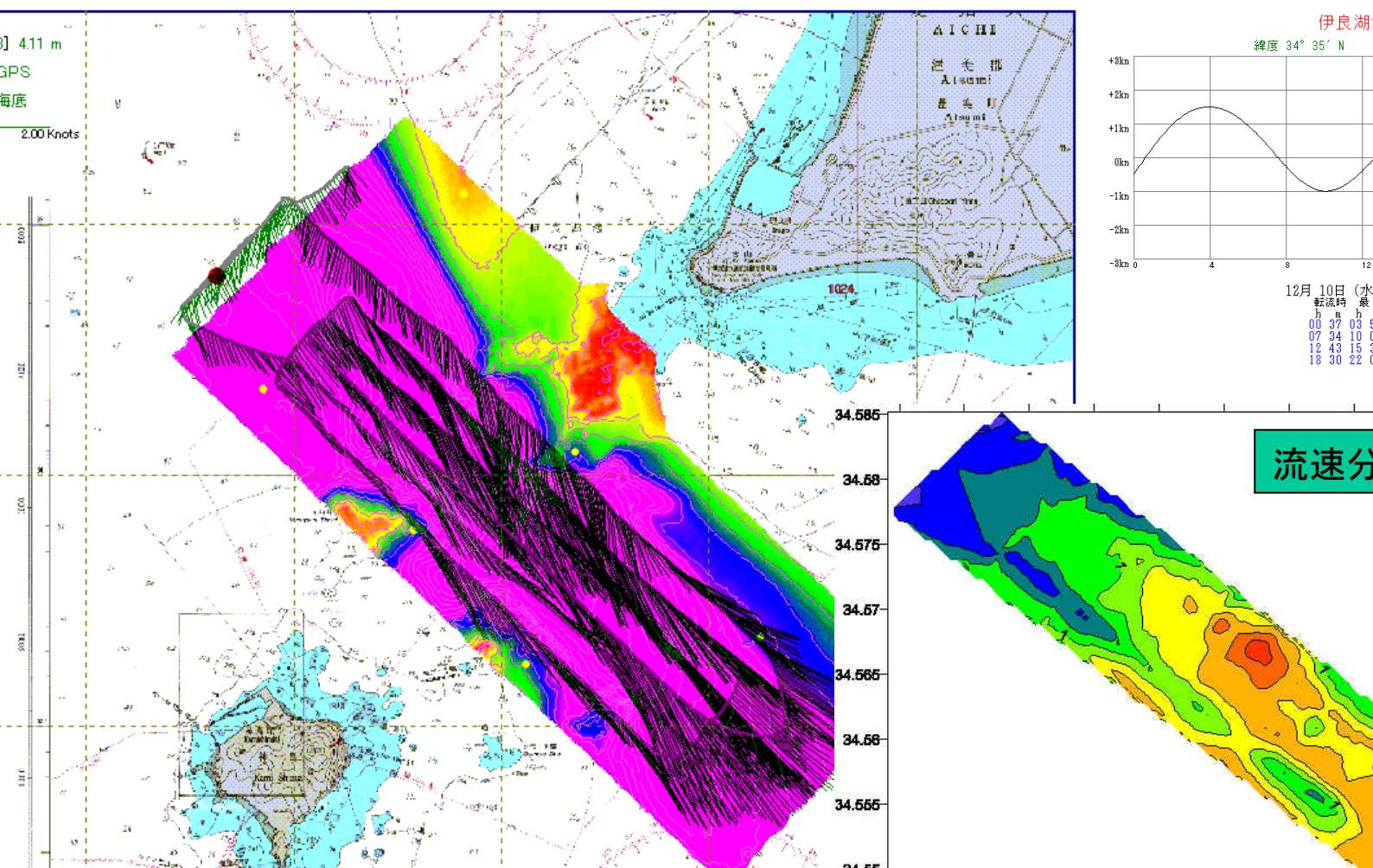


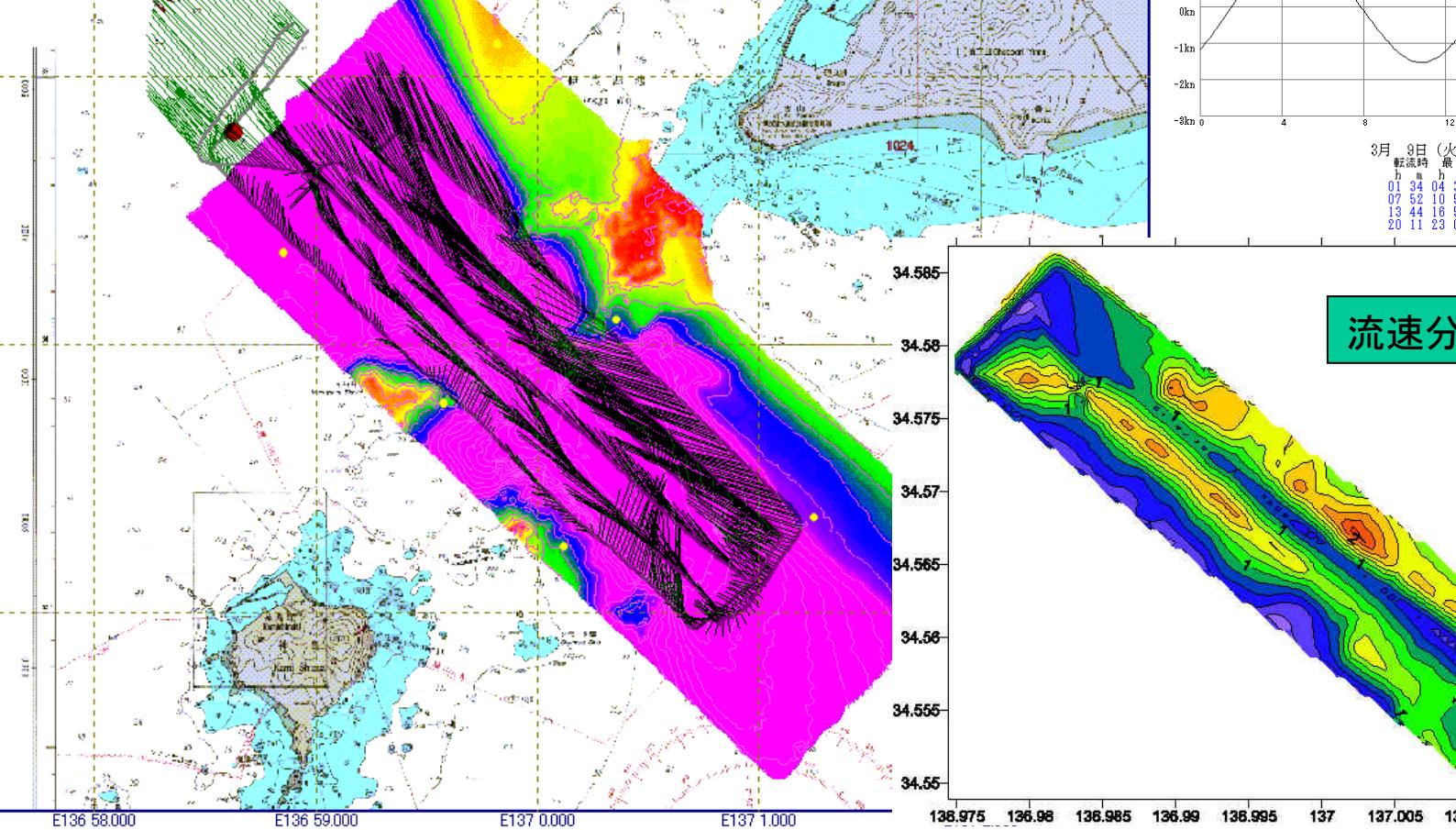
5-1 第2回伊良湖水道流況調査5m層流況図 (平成15年10月27日 13:17-16:12)





6-1 第3回伊良湖水道流況調査5m層流況図 (平成15年12月8日 12:32－15:38)





7-1 第4回伊良湖水道流況調査5m層流況図
(平成16年3月9日 13:56-16:56)

